

カテゴリー	演題番号	登録番号	氏名	演題名
1.薬物療法	MP1-1	10027	高野 謹嗣	双極性障害患者の寛解維持と急速交代型への薬剤の影響について(MUSUBI研究1年転帰調査より)
	MP1-2	10064	坪井 貴嗣	ECTはうつ病入院患者の薬物療法をどのように変化させるか:EGUIDEデータを用いて
	MP1-3	10001	萩 勝彦	双極I型障害うつ症状に対するルラシドン単剤療法の有効性の評価:前治療薬の違いによる事後解析
	MP1-4	10003	萩 勝彦	双極I型障害患者うつ症状に対するルラシドン単剤療法の有効性評価:罹病期間の長さの違いによる事後解析
	MP1-5	10002	船槻 紀也	幼少期被虐待歴とうつ病治療反応性の相関
	MP1-6	10006	井上 猛	双極性障害における処方実態調査～健康保険組合診療報酬明細データを用いた観察研究～
	MP1-7	10012	井上 猛	ボルチオキセチンによる早期症状改善からの治療反応予測の可能性:国内第3相臨床試験 CCT-004 事後解析結果からの考察
	MP1-8	10017	渡邊 衡一郎	MADRS anhedonia factorに対するボルチオキセチンの潜在的影響:国内第3相臨床試験 CCT-004 事後解析結果からの考察
	MP1-9	10019	渡部 芳徳	Anxious depressionに対するボルチオキセチンの潜在的影響:国内第3相臨床試験CCT-004事後解析結果からの考察
	MP1-10	10030	内田 裕之	「治療抵抗性うつ病に対するケタミン作用機序の探索:AMPA受容体PET研究」の研究プロトコールの紹介
	MP1-11	10036	川上 正憲	Lurasidoneを投与した双極性うつ病の1例一閾値以下の混合性の特徴も視野に入れて
	MP1-12	10043	降旗 隆二	うつ病入院患者における睡眠薬処方の実態と他の向精神薬処方との関連
	MP1-13	10047	徳満 敬大	リアルワールドにおける双極性障害患者の躁病エピソード予測因子
	MP1-14	10052	長谷川 尚美	うつ病の薬物治療に対するEGUIDEプロジェクトの効果:2016～2019年の処方調査から
	MP1-15	10000	久保田 直樹	うつ病を併発する不眠症患者における不眠症治療薬レンボレキサントの有効性と安全性:第III相試験事後解析
	MP1-16	10055	松本 優	疼痛を主訴とした高齢者うつ病にセルトラリンとアリピプラゾールによる補助療法が有効であった1例
	MP1-17	10004	井上 猛	双極I型障害うつ症状に対するルラシドンの有効性評価:不安症状の重症度による事後解析
	MP1-18	10005	嶋 泰一	双極I型障害うつ症状に対するルラシドンによる症状的、臨床的、機能的寛解誘導の評価:ELEVATE試験の事後解析
	MP1-19	10023	薄井 健介	レンボレキサントの処方継続率に関する調査
	MP1-20	10056	篠崎 将貴	リアルワールドにおける双極I型・II型障害の外来薬物療法の実態とは?—MUSUBI 2017より—
	MP1-21	10057	古郡 規雄	うつ病患者の退院時処方の特徴:EGUIDEデータより
	MP1-22	10066	飯田 仁志	うつ病治療ガイドラインに関するWeb講習の有効性の検討～EGUIDEプロジェクトから得られた知見～
	MP1-23	10079	青木 裕見	うつ病の寛解後、抗うつ薬の継続・中止を本人と一緒に決めるためのDecision Aidの開発

カテゴリー	演題番号	登録番号	氏名	演題名
2.薬物療法以外の治療法	MP2-1	10014	松浦 悠人	鍼刺激によるうつ病患者の脳血流の変化—Arterial spin labeled MRIを用いた検討—
	MP2-2	10037	和田 真孝	治療抵抗性うつ病に対する反復経頭蓋磁気刺激療法による左背外側前頭前野-右扁桃体間の機能的結合性の改善
	MP2-3	10046	櫻井 準	反復性経頭蓋磁気刺激法で寛解したうつ病患者における症状推移と残存症状
	MP2-4	10024	山本 祐輔	対人関係療法のエッセンスを活かした入院治療が奏功したうつ病の一例
	MP2-5	10065	井上 敦子	双極性障害を対象とした集団心理教育の再発予防効果～フォローアップ18か月の経過報告
	MP2-6	10068	野上 和香	うつ病に対する遠隔通信技術を用いた認知行動療法の実施可能性
	MP2-7	10069	五十嵐 俊	電気けいれん療法における過換気手技の有用性の検討:系統的レビューとメタ解析
3.病態・症状・診断・評価	MP3-1	10009	住吉 太幹	大うつ病性障害患者における抑うつ症状の早期改善・寛解と6ヶ月時点の認知機能的予後との関連
	MP3-2	10020	渡邊 衡一郎	大うつ病性障害患者におけるベースラインの認知症状とその後のプレゼンティズム及び社会機能の関連
	MP3-3	10058	福本 健太郎	「EGUIDEプロジェクト」うつ病治療ガイドライン適合度を用いた処方評価について
	MP3-4	10063	村岡 寛之	EGUIDEデータから、うつ病重症度記載によるうつ病入院患者の薬物療法の変化
	MP3-5	10073	吉成 尚人	寛解期うつ病の認知機能障害と抗コリン作用の関連性
	MP3-6	10076	神田 優太	治療抵抗性うつ病患者における終夜睡眠ポリグラフ検査所見及びアクチグラフデータと臨床指標及び心理検査との関連
	MP3-7	10071	杉山 崇	拒絶に敏感な人は情動を表現することで抑うつ感が緩和するか？
	MP3-8	10010	関 亮太	ライフイベントに関連した心理的苦悩症状の解明と尺度開発
	MP3-9	10028	安田 誠太	うつ病患者における治療反応性とamyloid β oligomerに関する研究
	MP3-10	10032	清水 健太郎	うつ病患者における血清 α シヌクレイン濃度と認知機能の関連性
	MP3-11	10033	市川 朝也	高齢うつ病患者の血清TDP-43濃度と抑うつ症状との関連性
	MP3-12	10034	山形 祥礼	Hamilton Rating Scale for Depression 7点以下のうつ病患者に残遺した抑うつ症状と生活の質との関連
	MP3-13	10041	中根 えりな	中高生に現代抑うつ症候群は存在するのか？(1):質問紙法による検討
	MP3-14	10042	田中 伸一郎	中高生に現代抑うつ症候群は存在するのか？(2):ケース・スタディ
	MP3-15	10016	徳永 雄一郎	コロナ禍による家族関係の変化と自殺者の増加について考える
	MP3-16	10025	片山 奈理子	大うつ病性障害における悲観的な未来性思考に関与する前頭極の活動
	MP3-17	10049	甲田 宗良	「新型うつ」に関するパーソナリティにおける職場における対人コーピングの特徴
	MP3-18	10078	加藤 正樹	うつ病に隠れたADHD特性による医療や労働上の負担を明らかにする

カテゴリー	演題番号	登録番号	氏名	演題名
3.病態・症状・診断・評価	MP3-19	10045	関口 裕孝	双極性障害の長期経過中に認知症を呈した3剖検例
	MP3-20	10050	勝村 恭子	退行期メランコリーとうつ病の比較～症例から診断と治療を考える～
	MP3-21	10031	坪井 貴嗣	うつ病の当事者・家族における治療意思決定の現状と希望を含めた質問紙調査の結果報告
	MP3-22	10040	福島 絵里子	寛解後の気分障害における残遺症状の検討
	MP3-23	10048	中島 亨	アクチウォッチによる「覚醒の質」の演算可能性について
	MP3-24	10053	杉本 浩利	気分障害圏の初診患者におけるAQおよびASRSの分布
	MP3-25	10067	長島 泉	難治性うつ状態を呈する神経発達症の特性-作業療法による行動評価の活用
	MP3-26	10080	大江 悠樹	難治性うつ状態にある患者を認知機能の側面から捉えなおす試み
4.ライフサイクルとうつ病	MP4-1	10026	澤村 勇希	ADHD症状を有する大学生の抑うつ状態に対する対人関係カウンセリングの12週間後までの有効性の探索的検討
	MP4-2	10039	上田 ひとみ	ASD傾向を有する大学生の抑うつ状態に対する対人関係カウンセリングの効果発現時期の探索的検討
	MP4-3	10035	寺尾 樹	睡眠の問題とレジリエンスによる交互作用のうつ症状に及ぼす影響:階層的重回帰分析による解析
	MP4-4	10021	大橋 昌資	小規模リワークプログラムの可能性～ワーク&ライフサポート
5.自殺予防	MP5-1	10011	荒木 健介	「当院での自殺予防対策の取り組み」～潜在化していた希死念慮の抽出とトリアージの課題～
	MP5-2	10061	吉村 道孝	新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年とコロナ禍の2020年のソーシャルメディア上の希死念慮に関する話題頻度について
6.産業メンタルヘルス	MP6-1	10022	松永 美希	うつ病休職者における集団認知行動療法の効果——唾液中コルチゾール分泌の変化——
	MP6-2	10015	津山 雄亮	COVID-19感染症治療に従事する医療従事者のメンタルヘルスの実態
	MP6-3	10072	近藤 智	うつ病患者の食生活の特徴とは?～体内時計同調のためのプログラム介入による実践報告～
	MP6-4	10007	志賀 希子	ストレスの高低とうつ症状の有無に関する職場環境と生活習慣の検討
7.家族への支援	MP7-1	10008	木村 洋子	ICTを活用したうつ病患者家族支援システムの構築
8.症例検討	MP8-1	10054	内沼 虹衣菜	右片側刺激電気けいれん療法で臨床効果が不十分であり両側性刺激に変更し著明な改善を得た双極性うつ病の2例
	MP8-2	10070	榎木 萌	家庭問題から抑うつ状態となり入院が必要であった父子家庭の思春期女性症例

カテゴリー	演題番号	登録番号	氏名	演題名
9.その他	MP9-1	10051	根本 友見	精神科入院患者の語りを看護師が傾聴することに影響する要因:国内文献レビュー
	MP9-2	10059	小笠原 一能	「EGUIDEプロジェクト」受講者アンケートの解析から(第2報)
	MP9-3	10013	鈴木 映二	双極性障害の当事者会の電話相談によせられた相談内容について
	MP9-4	10018	原 恭美	うつ病治療における多職種カンファレンスの重要性
	MP9-5	10029	平井 豊美	枠付けマインドシーケンス使用後の学習効果の研究 —学生の反応を通して—
	MP9-6	10044	吉田 信子	大学病院での精神科作業療法における看護師の役割- 気分障害治療における多職種チーム医療 -
	MP9-7	10060	山田 恒	治療ガイドライン教育プロジェクト(EGUIDEプロジェクト)の効果の検討-ガイドライン講習前と受講後3年間の臨床行動実践度の変化-
	MP9-8	10062	本山 美久仁	精神科レジデントに対する治療ガイドライン教育プロジェクト(EGUIDEプロジェクト)の効果の検討-臨床行動実践度の比較-